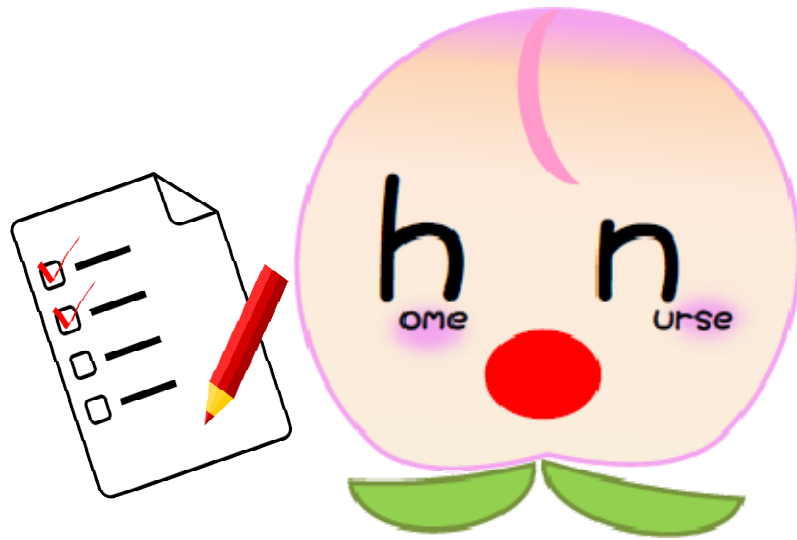


# 令和6年度 研修計画



- 今年度より法定研修に対応 ※法定研修  
(認知症関連については、岡山県看護協会研修等をご活用ください)
- 新任訪問看護師(訪問看護の初任者)は、できるだけ早くレベル I 研修からの受講を推奨
- 管理者は必須選択から3項目以上毎年受講(令和3年度から変更)
- 1項目3時間とし、半日単位で受講可能(例外有)
- 受講料無料! ただし、資料代半日 500 円、1 日 1,000 円(例外有)
- 内容および状況によっては、WEB(ケアキャビネット)を活用しハイブリッド方式で開催  
(ケアキャビネット未加入の機器使用時は、別途手数料 500 円が必要となります)
- 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・介護職・事務職等、どなたでも聴講可能
- 在宅看護知識・技術については、岡山県看護協会研修の活用も推奨

## 岡山県訪問看護ステーション連絡協議会

〒700-0805 岡山市北区兵団4-39 岡山県看護研修センター3階

TEL (086) 238-6688 FAX (086) 238-6681

HP <http://okayama.houmonkango.net/>

E-mail [okayama@space.ocn.ne.jp](mailto:okayama@space.ocn.ne.jp)

# 目 次

令和6年度訪問看護クリニカルラダー別研修の考え方	1
訪問看護ラダー別教育プログラム(OJT)シート	2
令和6年度岡山県訪問看護ステーション連絡協議会研修一覧	3
研修受講申込・参加要領	4
研修詳細	5
訪問看護ラダーレベルⅠ対象研修詳細	6
訪問看護ラダーレベルⅡ対象研修詳細	7
訪問看護ラダーレベルⅢ対象研修詳細	8
訪問看護ラダーレベルⅣ対象研修詳細	9
訪問看護ラダーレベルⅤ対象研修詳細	10
訪問看護ラダー別メモリー使用手順	11

## 別 添 原本

受講申込書(共通)

訪問看護ラダー別メモリー(各レベル)

(岡山版)訪問看護ラダー別教育プログラム評価シート(簡易版)

令和6年度訪問看護ステーション研修計画(カレンダー)

令和6年度岡山県訪問看護ステーション連絡協議会研修および  
各ステーション研修計画(掲示用)

# 令和6年度訪問看護クリニカルラダー別研修の考え方

## 1. 研修の目的

訪問看護師及び管理者が、それぞれの課題解決のため訪問看護クリニカルラダーレベルに応じたラダー別研修を受講する。研修で学んだことを活用した訪問看護実践により、訪問看護実践能力を高め、事業所の訪問看護の質の標準化を図る。

## 2. 訪問看護ラダー別研修の考え方(平成29年度原則作成) 令和3年1月変更

	レベルⅠ (新人・新任)	レベルⅡ (初級)	レベルⅢ (中級)	レベルⅣ (上級/管理者基礎)	レベルⅤ (管理者)
対象	訪問看護新任者 (初めて訪問看護従事者)	レベルⅠ到達者 レベルⅡ相当者	レベルⅡ到達者 レベルⅢ相当者	レベルⅢ到達者 レベルⅣ相当者 新任管理者 次期管理者候補等	管理者等
必須項目	1.基本姿勢 2.倫理 3.コミュニケーション能力 4.組織内部の連携 5.家族支援 6.看護知識・技術2項目	1.教育指導 2.自己啓発・研究 3.社会資源 4.感染管理 5.リスクマネジメント 6.看護知識・技術4項目	1.倫理 2.自己啓発・研究 3.地域連携 4.組織運営・管理 5.看護知識・技術4項目	1.倫理 2.教育指導 3.自己啓発・研究 4.地域連携 5.組織運営・管理 6.看護知識・技術	1.基本姿勢 2.倫理 3.教育指導 4.組織内部の連携 5.リスクマネジメント 6.感染管理 7.ハラスメント対策 8.組織運営・管理 9.看護知識・技術 (1~9:3項目以上)
期間	1年間で修了	2年間で修了	2年間で修了	2年間で修了	毎年

注) 看護知識・技術：在宅看護知識・技術

注) レベル到達者：該当レベルの評価全項目が「一人でできる」または「指導の下でできる」。

レベル相当者：該当レベルの評価が「一人でできる」または「指導の下でできる」が中心であるが、一部項目に「できない」「未経験」がある。

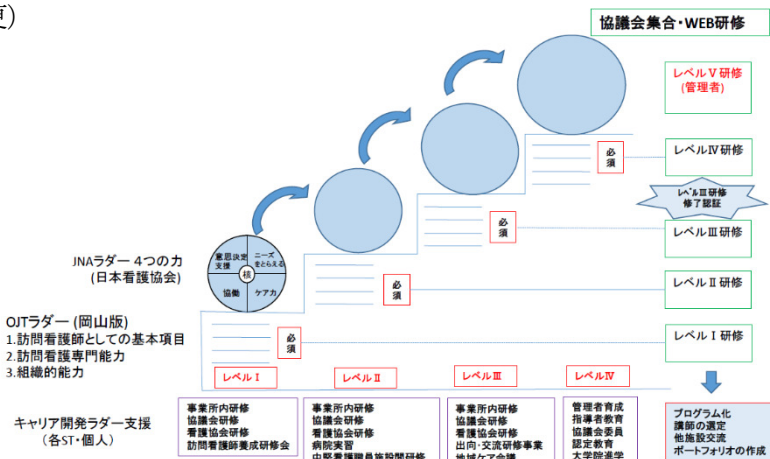
注) 岡山県看護協会「令和6年度教育・研修・学会計画」も積極的に活用し、研修を計画的に受講する。

### <訪問看護ラダー別教育プログラム(OJT) 教育評価項目の構造> (平成29年度作成)

大項目	中項目
I. 訪問看護師としての基本項目	1.基本姿勢 2.倫理 3.コミュニケーション能力 4.組織内部の連携 5.教育指導 6.自己啓発・研究
II. 訪問看護専門能力	7.エンパワーメント 8.家族支援 9.社会資源 10.在宅看護知識・技術 11.在宅における感染管理
III. 組織的能力	12.リスクマネジメント 13.地域連携 14.組織運営・管理

### <岡山県訪問看護ステーション連絡協議会訪問看護クリニカルラダーによる研修体制の考え方>

(平成29年作成、令和3年一部変更)



# 訪問看護ラダー別教育プログラム(OJT)シート

教育評価項目の構造

到達目標		訪問看護師として基本的態度を身につけ、ステーションメンバーとして活動できる	訪問看護師として、一人で看護展開ができる	訪問看護師として自立し、困難事例にも対応できる	ステーション内のリーダーの役割が取り、管理の補佐ができる	管理者として効果的な組織運営ができ、訪問看護ステーションとして、地域に必要とされる役割を發揮できる
大項目		レベルⅠ(新人・新任)	レベルⅡ(初級)	レベルⅢ(中級)	レベルⅣ(上級)	レベルⅤ(管理者)
訪問看護師としての基本項目	基本姿勢	① 事業所の理念・看護目標が理解できる	① 事業所の理念・看護目標を理解して、他の職員と共有することができる	① 事業所の理念・看護目標を実施するために他の職員に対し、自己目標が管理できるように支援することができる	① 看護目標に向けてリーダーシップを取ることができる	① 事業所のビジョンを明確にしている
		② 訪問看護師のマナーを知ることができる	② 事業所の理念・看護目標を理解して、自己の目標を立案・実施することができる	② 活動目標を設定・評価時に積極的に参加できる		
		③ 目的を事前に把握できる	③ 訪問看護師のマナーを守ることができる	③ 就業上のルール、マナーについて指導ができる		
		④ 時間のマネジメントができる	④ 訪問看護に対する関心が継続できる	④ 訪問看護師として自分を肯定し、目指す姿を表現することができる	② 訪問看護師としての誇りを持ち続け、目指す訪問看護師像になる努力を続けることができる	② 自己のストレスとその影響に気づき、コントロールする方法を持つ
		⑤ 日本看護協会の倫理綱領を理解できる	⑤ 安全、安楽を考慮して、効率的な援助内容を計画・実施することができる	⑤ 効果的で安全な訪問スケジュールを提案できる	③ 業務の効率化・経済性の視点から意見・提案ができる	③ 職員が働きやすい環境を作る
	倫理	⑥ 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重できる	⑥ 倫理的問題に気づくことができる	⑥ 倫理的問題の解決策に基づき行動することができる	④ 倫理的問題の解決策について指導できる倫理的問題の解決策を客観的に評価することができる	④ 倫理的問題に組織的に責任を持つ
		⑦ 対象となる人々に平等に看護を提供できる	⑦ 利用者・家族の権利を代弁・擁護することができる			⑤ 看護実践に起こりうる倫理的問題に対し予防的対応ができる
		⑧ 対象となる人々との間に信頼関係を築くことができる	⑧ 個人情報を適切な方法で入手・管理できる			
		⑨ 知る権利及び自己決定の権利を尊重し、擁護できる	⑨ 利用者・家族に対する説明責任を果たすことができる			
		⑩ 守秘義務を遵守し、個人情報の保護に努めることができる				
		⑪ 看護師が責任を持つ人は利用者・家族であると理解できる				
	コミュニケーション能力	⑫ コミュニケーションを通して、利用者・家族との良好な関係をつくることができる	⑫ コミュニケーションを通して利用者、家族から必要な情報を得ることができる	⑫ コミュニケーションを通し人間関係の調整を図ることができる	⑫ 効果的なコミュニケーションを通して利用者・家族の問題解決を図ることができる	
		組織内部の連携	⑬ 自分の悩みを表明できる	⑬ 管理者や同僚の支援が必要と判断し、支援を求めることができる	⑬ 他職種個々の悩みを受け止め、解決の方向性を見出すことができる	⑦ 他機関・他職種と円滑な関係を築くことができる
			⑭ 1人で判断が困難な問題に関して、同僚・管理者にすまやかに相談できる	⑭ 同僚の役割を把握することができる	⑭ 効果的に自分の役割を果たすことができる	⑧ 事業所職員が必要とされている役割を果たせるように、個々に調整的に関わることができる
			⑮ 職場の一員として所属感を持つことができる			
教育・指導	⑯ 指導を受けながら、在宅療養に必要な教育指導を利用者・家族に行うことができる	⑯ 利用者・家族に合った方法で、在宅療養の持つ力を見極めることができる	⑯ 利用者・家族の生活環境や価値観とQOLを考慮して教育指導を行うことができる	⑯ 事業所内での勉強会などを企画運営することができる	⑧ 同僚に対して個々の特性を踏まえ、教育的視点から助言・指導できる	
	自己啓発・研究	⑰ 事例を振り返ることができる	⑰ 他の職員の訪問看護活動に関心を持ち、学んだことを自分の実践に生かすことができる	⑰ 訪問看護師としての自分の将来像に向かって行動することができる	⑨ 実習生・研修生などの指導について同僚に支援できる	⑨ 部下の能力や適性を把握し、育成ができる
		⑱ 知識・技術・態度などの不足を補うために自己学習できる	⑱ 自分の看護活動を客観的に分析し、整理することができる	⑱ 自分の能力を客観的に評価し、不足部分を補うことができる	⑱ 成長発達のために努力し続けることができる	⑩ 事業所の年間教育計画を立案、実施する
		⑲ 研修や学会などに関心を持ち行動に表すことができる	⑲ 自らの関心事を見出し、テーマを決めて研究的に取り組むことができる	⑲ 研究活動を看護実践に活かすことができる	⑲ 管理者と共に実習・研修の教育指導体制を調整することができる	⑩ 実習・研修の受け入れ、教育指導体制を整備する
訪問看護専門的能力	エンパワメント	⑲ 利用者・家族の持つ力(強み)を信じてあげることができる	⑲ 利用者・家族がもつ力を引き出すことができる	⑲ 利用者・家族が自ら解決できる方向に導くことができる	⑩ 同僚に家族支援の指導ができる	⑪ 職員個々の持っている力を強化し、個々が自持できるように働きかける
		⑳ 利用者や家族を一単位の看護の対象として認識することができる	⑳ 利用者・家族に生じている問題に対し、家族支援方法が理解できる	⑳ 利用者・家族が自ら解決できる方向に導くことができる	⑪ 同僚に家族支援の指導ができる	⑪ 訪問看護事業所の活動に理解を示し、応援する仲間ができる環境を積極的に作っていく
	家族支援	㉑ 利用者・家族をとりまく環境を把握できる	㉑ 利用者・家族に必要な制度・社会資源が把握でき、説明することができる	㉑ 利用者・家族に適切な社会資源の活用を実行することができる	㉑ 利用者に必要な社会資源を開拓することができる	⑫ 職員が家族支援を含めた看護展開できるように指導・支援ができる
		㉒ 在宅看護に必要な最低限の看護知識・技術を身につけることができる	㉒ 利用者・家族の状況・状態に応じた適切な看護を提供できる	㉒ 医療処置や看護援助について、利用者・家族・関係職種に説明・指導できる	㉒ 職場内で在宅看護の質の向上を図ることができる	⑬ 社会資源の開発に取り組む姿勢を持つことができる
	在宅にお届け	㉓ スタンダードプリコーションの基本を理解し、実施できる	㉓ 主要な感染症への対応方法を理解し、行動することができる	㉓ 感染管理について情報を共有し、利用者・家族・関係職種に説明・指導ができる	㉓ 感染管理についてリーダーシップを取ることができる	⑭ 管理者として在宅看護の質向上に貢献することができる
		㉔ 安全に医療廃棄物の取り扱いを行うことができる				⑮ 感染症に適切に対処し、関係機関に連絡し、感染拡大を防止する
	リスクマネジメント	㉕ リスクマニュアルにそって行動ができる(災害・苦情・感染・事故・個人情報・虐待・背任行為・パワハラ・セクハラ・暴力・暴言)	㉕ リスクマニュアルを熟知し、自ら行動できる	㉕ リスク管理について、利用者・家族及び職員に指導助言ができる	㉕ リスク管理体制を理解し、危機管理において管理者を補佐(災害・苦情・感染・事故・個人情報・虐待・背任行為・パワハラ・セクハラ・暴力・暴言)することができる	⑯ 組織の危機管理責任者として行動することができる
		㉖ 多職種連携の必要性を理解できる	㉖ 関係機関・職種に対して、連携が必要な状況を判断し、適切に報告・連絡・相談ができる	㉖ 看護の専門性を発揮し、関係機関・職種と必要な調整ができる	㉖ 地域で新しいネットワークを必要に応じて作る事ができる	⑰ 職員では解決が困難な苦情に対し、対応する
	組織的能力	地域連携	㉗ 地域における事業所の役割を理解し、他者に説明することができる	㉗ 訪問看護の質向上に関心を持ち、看護実践の評価に加わることができる	㉗ 管理者と共に、職員が力を発揮できるような労働環境をつくる事ができる	⑱ 災害時対応マニュアルを適宜更新し関係機関・関係職種との防災体制を調整する
			㉘ 組織の一員として行動できる	㉘ 自分の看護能力を客観的に評価し、質の向上に努めることができる	㉘ 管理者と共に、組織的な問題解決に取り組むことができる	⑲ 地域で活動する看護職や多職種の育成に貢献する
組織運営・管理		㉙ 経営的視点を考えることができる	㉙ 訪問看護の経済性を意識して行動することができる	㉙ 運営・経営・管理について目標を理解し、提案できる	㉙ 管理者と共に、事業所の健全な運営・経営・管理を行うことができる	⑲ 事業所の健全な経営をすることができる

# 令和6年度岡山県訪問看護ステーション連絡協議会 研修計画一覧

どなたでも、どのレベルでも、1項目のみでもご受講いただけます。裏面の受講申込書にて各研修日の2週間前までにお申込みください。

研修	No.	日程・会場	テーマ	講師(敬称略)
訪問看護ラダーレベルⅠ	11	4月17日(水)9:30~12:30 岡山県看護研修センター	(在宅看護知識Ⅰ) 【公開講座】 訪問看護の臨床推論	佐藤 直子 聖路加国際大学
	12	4月17日(水)13:15~16:15 岡山県看護研修センター	(コミュニケーション能力Ⅰ)(組織内部の連携Ⅰ)(基本姿勢Ⅰ) コミュニケーション技術・組織内部の連携 【公開講座】	
	13	10月9日(水)9:30~12:30 岡山県看護研修センター	(倫理Ⅰ) 在宅における看護倫理	石本 傳江
	14	10月9日(水)13:15~16:15 岡山県看護研修センター	(家族支援Ⅰ) 在宅療養者の家族支援	小郷 寿美代 訪問看護ステーションくらかみ
訪問看護ラダーレベルⅡ	21	4月24日(水)13:30~16:30 岡山県看護研修センター	(教育指導Ⅱ) 利用者・家族への教育指導	菅崎 仁美 岡山県看護協会
	22	6月6日(木)9:30~12:30 岡山県看護研修センター	(社会資源Ⅱ)(地域連携Ⅱ) 【公開講座】 在宅における関係機関、職種、社会資源の活用	守屋 さとみ 岡山居宅介護支援センター看護協会
	23	6月6日(木)13:15~16:15 岡山県看護研修センター	(リスクマネジメントⅡ) 訪問看護におけるリスクマネジメント ※法定研修	竹内 美里 津山中央訪問看護ステーション
	24	6月27日(木)13:30~16:30 岡山県看護研修センター	(自己啓発・研究Ⅱ) 事例検討～訪問看護師の在り方～	栗本 一美 新見立大学
訪問看護ラダーレベルⅢ	31	7月24日(水)9:30~12:30 岡山県看護研修センター	(地域連携Ⅲ) 地域包括ケアにおける看護職の役割と多職種連携	塚本 由佳 水島虹の訪問看護ステーション
	32	7月24日(水)13:15~16:15 岡山県看護研修センター	(組織運営・管理Ⅲ) 訪問看護ステーションの人材確保と経営	下村 明世 そよかぜ訪問看護ステーション
	33	11月27日(水)9:30~12:30 岡山県看護研修センター	(エンパワーメントⅢ)(自己啓発・研究Ⅲ) 在宅におけるエンパワーメントアプローチ	山形 真由美 山陽学園大学
	34	11月27日(水)13:15~16:15 岡山県看護研修センター	(倫理Ⅲ) 【公開講座】 在宅における倫理的問題の解決方法 ※法定研修	多留 ちえみ 生活者支援ネット TARU' S
訪問看護ラダーレベルⅣ	41	8月1日(木)9:30~12:30 岡山県看護研修センター	(自己啓発・研究Ⅳ) 事例検討～訪問看護師の在り方～	赤瀬 佳代 訪問看護ステーション晴
	42	8月1日(木)13:15~16:15 岡山県看護研修センター	(地域連携Ⅳ) 地域包括ケアにおける看護職の役割	江田 純子 岡山県看護協会 地域包括ケア推進室
	43	11月19日(火)9:30~16:15 岡山県看護研修センター	(組織運営・管理Ⅳ) 【公開講座】 訪問看護ステーションの運営・管理 働きやすい職場環境づくり	角田 直枝 常磐大学
	44	12月18日(水)13:30~16:30 岡山県看護研修センター	(教育指導Ⅳ) 【公開講座】 人材育成	佐藤 直子 聖路加国際大学
訪問看護ラダーレベルⅤ	51	5月14日(火)9:30~12:30 岡山県看護研修センター	(組織運営・管理Ⅴ) 【公開講座】 令和6年度報酬改定	大竹 尊典 日本訪問看護財団
	52	9月7日(土)9:30~12:30 岡山大学	(倫理Ⅴ) 在宅における看護倫理 ※法定研修	谷垣 静子 岡山大学
	53	9月7日(土)13:30~16:30 岡山大学	(教育指導Ⅴ) 看護教員と訪問看護師で訪問看護についてかたろう会	谷垣 静子 岡山大学
	54	12月11日(水)9:30~16:15 岡山県看護研修センター	(基本姿勢Ⅴ)(組織内部の連携Ⅴ)(組織運営・経営Ⅴ) 安定した事業継続のためのマネジメント 午後:管理者カフェ	渡邊 尚之 渡邊会計事務所
	55	5月14日(火)13:15~16:15 岡山県看護研修センター	(ハラスメント対策Ⅴ) 働きやすい職場環境の整備・ハラスメント対策 ※法定研修	石井 サト子 石井@教育研究所
	56	12月18日(水)9:30~12:30 岡山県看護研修センター	(リスクマネジメントⅤ)(感染管理Ⅴ) BCPの運用 一災害・感染症対策一 ※法定研修	江田 純子 岡山県看護協会 地域包括ケア推進室
在宅看護知識・技術	61	8月31日(土)13:30~16:30 金田病院	(在宅看護知識) 在宅での症状緩和・看取り(仮)	三村 卓司 金田病院
	62	9月3日(火)9:30~12:30 岡山県看護研修センター	(在宅看護知識・技術) 在宅に必要な呼吸器の管理	光畑 良美 岡山済生会総合病院
	63	9月3日(火)13:30~16:30 岡山県看護研修センター	(在宅看護知識・技術) 在宅に必要なP I C Cの管理	小泉 匡司 岡山済生会総合病院
	64	10月16日(水)9:30~16:15 岡山県看護研修センター	(在宅看護知識・技術) 【公開講座】 在宅療養に必要な基本的ケアの知識・技術	佐藤 直子 聖路加国際大学
	65	10月30日(水)9:30~12:30 岡山県看護研修センター	(在宅看護知識) 地域における難病療養者と家族への支援・社会資源の活用	樋口 妙子
	66	10月30日(水)13:15~16:15 岡山県看護研修センター	(在宅看護知識)(感染管理) 在宅における感染管理 ※法定研修	立道 優太 岡山済生会総合病院
	67	1月30日(木)13:30~16:30 岡山県看護研修センター	(在宅看護知識) 発達特性への関わりポイント 一生活者として尊重するために一	林原 麻衣子 岡山済生会総合病院

※資料代は、当日受付にてお支払いください。

※内容、日時、開催方式等、変更となる場合があります。調整中の研修含め、HPにて最新情報をご確認ください。

※認知症の研修については、岡山県看護協会等研修をご活用ください。

会場：岡山県看護研修センター／岡山市北区兵団 4-39

岡山県看護会館／岡山市北区兵団 4-31

HP <https://houmonkango.net/>



# 研修受講申込・参加要領

## 1. レベル別研修の受講について

- ・受講対象者以外は、他レベル研修の聴講が定員の範囲内で可能です。(要申込)

## 2. レベル別研修の受講申込について

- ・受講申込書に必要事項を記入し、締切(原則研修日 **14日前**)までにFAXまたはメールにて提出してください。
- ・同研修を複数名申込の場合は、申込書をコピーしてお使いください。(お一人一枚で使用)

## 3. 受講者の決定について

- ・締切後、受講者の決定を以下に沿って行います。
  - 申込順に受け付けます。
  - 定員超過した場合は、複数名申込みされたステーションにご相談させていただきます。
- ・受講申込者が受講できない場合のみ、訪問看護ステーション管理者へ連絡します。(確認を要する場合は、事務局へ連絡してください)

## 4. 受講について

- ・受講をキャンセルする場合は、決まった時点で必ず事務局へ連絡してください。
- ・訪問看護ラダー別メモリー(管理者が事前に受講者へお渡しください)を持参し、該当欄テーマ・受講年月日・時間数を記入してください。

### ①会場受講について

- ・資料代及び受講料は、当日受付にてお支払ください。(領収証をお渡しします)

### ②WEB受講について

- ・WEB会議システムは、ケアキャビネットを利用します。
- ・資料およびアンケート・請求書は、研修の前日までに郵送またはメールで送付します。
- ・研修終了後、アンケートを事務局へFAX(086-238-6681)で提出してください。

### ★WEB受講の注意事項

- ・当日利用の端末がケアキャビネットに加入していない場合は、別途500円を徴収します。
- ・ご利用の端末、ネットワーク等の通信速度によっては、正常に動作しない場合があります。初めての方は、必ず前日までに接続確認を行ってください。研修当日は動作についてのお問い合わせは対応できませんのでご注意ください。
- ・当日は、時間に余裕をもってWEB会議システムに入室し、確認をしてください。
- ・当日、音声・画像等の乱れがある場合や、質問など、チャットをご活用ください。
- ・ご受講の際は画面や音声を共有しておりますので環境を整えてご参加ください。

## 5. 看護協会の駐車場について

- ・受講申込書にて駐車場の申込をしてください。
- ・駐車場の使用をキャンセルする場合、また別の車で来場する場合は、必ず事務局へ連絡してください。(特にキャンセルの場合は決まった時点で連絡してください)
- ~~・駐車場を利用する際には、駐車後、看護協会玄関内側の券売機にて駐車券を購入し、車のフロント内側に表向きで置いてください。(半日券300円 1日券500円)~~

## 6. その他

- ・感染症の感染拡大や、天候不良等により変更、中止等せざるを得ない場合があります。HPにてご確認ください。

HP <https://houmonkango.net/>





# 研修詳細

訪問看護ラダーレベルⅠ対象研修詳細

訪問看護ラダーレベルⅡ対象研修詳細

訪問看護ラダーレベルⅢ対象研修詳細

訪問看護ラダーレベルⅣ対象研修詳細

訪問看護ラダーレベルⅤ対象研修詳細

※在宅看護知識・技術研修は全てに該当

- 調整中の研修については、決まりましたらHPに掲載します。
- 講師の所属は、令和6年2月現在のものです。
- 申込については、特筆ない限り共通の受講申込書を用い、「研修受講申込・参加要領」に沿って申し込んでください。
- 諸事情にて、研修が変更となる場合は、メール(当会メーリングリスト)にてご案内します。

( 問 い 合 せ ・ 申 込 先 )

岡山県訪問看護ステーション連絡協議会

T E L (086) 238-6688 F A X (086) 238-6681

HP <https://houmonkango.net/>

令和6年度 訪問看護ラダーレベル I 対象

No	月日	方法	(中項目)テーマ	目的・到達目標	講師
11	4月17日(水) 9:30～12:30 看護研修センター	対面	(在宅看護知識) 訪問看護の臨床推論	<b>訪問看護に必要な臨床推論について学ぶ</b> 1.臨床推論の基礎が理解できる 2.訪問看護に必要な判断に至るプロセスを学ぶ	佐藤 直子 聖路加国際大学
12	4月17日(水) 13:15～16:15 看護研修センター	対面	(コミュニケーション能力/組織内部の連携/基本姿勢) コミュニケーション技術/組織内部の連携	<b>コミュニケーション技術を学び、チームワークを大切にしたい行動ができる</b> 1.自己のコミュニケーションの課題が明らかになる 2.チームワークを大切にしたいコミュニケーションが理解できる 3.論理的思考を活用し、組織内部で報告、連絡、相談ができる	
13	10月9日(水) 9:30～12:30 看護研修センター	対面	(倫理) 在宅における看護倫理	<b>看護倫理に基づく看護判断・看護実践を考える</b> 1.日本看護協会の倫理綱領が理解できる 2.利用者・家族の尊厳について考えることができる 3.看護倫理に基づく判断・看護実践を考えることができる 4.個人情報保護の必要性について理解できる	石本 傳江
14	10月9日(水) 13:30～16:15 看護研修センター	対面	(家族支援) 在宅療養者の家族支援	<b>家族の特性を学び、適切な支援ができる</b> 1.在宅療養者と家族を一単位の対象者として、在宅療養者と家族の持つ力(強み)を認識し、看護実践に活かすことができる 2.在宅療養者と家族に起こりやすい問題や支援方法が理解できる 3.在宅療養者と家族を取り巻く環境を把握する必要性が理解できる	小郷 寿美代 訪問看護ステーション くろかみ
61	8月31日(土) 13:30～16:30 金田病院	対面	在宅での症状緩和、看取り(仮)	<b>在宅での緩和ケア、看取りについて学ぶ(仮)</b> 1.看取りのプロセスにおける尊厳の尊重や苦痛の緩和について理解できる 2.療養者、家族の心理社会的側面への配慮ができる	三村 卓司 金田病院
62	9月3日(火) 9:30～12:30 看護研修センター	対面	在宅で必要な呼吸器の管理	<b>在宅で必要な呼吸器の知識・技術を学ぶ</b> 1.在宅で必要な呼吸器の基礎知識が習得できる 2.在宅で必要な呼吸器の基礎技術が理解できる 3.医療的ケアの実際にかかわることができる	光畑 良美 岡山済生会総合病院
63	9月3日(火) 13:30～16:30 看護研修センター	対面	在宅で必要なPICCの管理	<b>在宅で必要なPICCの知識・技術を学ぶ</b> 1.在宅で必要なPICCの基礎知識が習得できる 2.在宅で必要なPICCの基礎技術が理解できる 3.医療的ケアの実際にかかわることができる	小泉 匡司 岡山済生会総合病院
64	10月16日(水) 9:30～16:15 看護研修センター	対面	訪問看護に必要な基本的ケアの知識・技術	<b>訪問看護に必要な基本的ケアの知識・技術を学ぶ</b> 1.排泄ケア(排便コントロールを含む)知識・技術を習得する 2.体位変換、移動、移乗の知識・技術を習得する 3.吸引、爪切りなどの知識・技術を習得する	佐藤 直子 聖路加国際大学
65	10月30日(水) 9:30～12:30 看護研修センター	対面	難病療養者と家族への支援・社会資源の活用	<b>難病療養者と家族への支援を学ぶ</b> 1.難病療養者を支援する制度と社会資源、多職種連携の在り方が理解できる 2.相談支援専門員と看護職の連携について理解できる 3.難病療養者と家族の支援の実際について理解できる	樋口 妙子
66	10月30日(水) 13:15～16:15 看護研修センター	対面 Web	在宅における感染管理 ※法定研修	<b>在宅における感染症への対応と支援を学ぶ</b> 1.訪問時の標準予防策が実施できる 2.医療廃棄物を適正に処理できる(家族への指導ができる) 3.食中毒の知識と予防対策がわかる	立道 優太 岡山済生会総合病院
67	1月30日(木) 13:30～16:30 看護研修センター	対面	発達特性への関わりポイント —生活者として尊重するために—	<b>地域で生活する発達障害への支援を学ぶ</b> 1.発達障害について理解できる 2.在宅療養者・介護者とのかかわりのポイントがわかる 3.生活者のリズムに合わせたケアが展開できる	林原 麻衣子 岡山済生会総合病院

申込方法	共通の受講申込書にて <b>研修日ごと、お一人一枚</b> にもれなくご記入の上、 <b>研修日2週間前</b> までにお申込みください。
資料代/手数料	半日:500円 一日:1,000円/WEB受講の場合、当日の使用機器が、ケアキャビネットに加入していない場合:500円/回
支払い方法	会場:当日受付にて現金をお支払いください。 WEB:事前に請求書を送付するので、2週間以内に振込をお願いします。(手数料はご負担ください)
その他	上記以外の研修(他レベル)も受講できます。 単発で開催する研修、交流会、管理者関係の会議等については、随時ご案内します。 有事等、研修開催方法の変更や中止となることがあります。その際は、決まり次第ご連絡します。 HPに最新情報を掲載しますのでご確認ください。



令和6年度 訪問看護ラダーレベルⅡ 対象

No	月日	方法	(中項目)テーマ	目的・到達目標	講師
21	4月24日(水) 13:30～16:30 看護研修センター	対面	(教育指導) 利用者・家族への教育指導	利用者・家族の在宅療養を支える教育指導を行うことができる 1.利用者・家族の意思を尊重し、主体性をもって生活できるような教育指導を考えることができる 2.利用者の状態及び家族の介護力を見極め、在宅療養の継続支援を考えることができる	菅崎 仁美 岡山県看護協会
22	6月6日(木) 9:30～12:30 看護研修センター	対面 Web	(社会資源・地域連携) 在宅における関係機関、職種、社会資源の活用	訪問看護師として関係機関・職種との調整や連携、社会資源の活用ができる 1.地域包括ケアにおける訪問看護師の役割が理解できる 2.関係機関・職種に対して、連携が必要な状況を判断し適切に報告・連絡・相談ができる 3.利用者、家族の要望やニーズに沿った適切な社会資源の活用方法が説明できる	守屋 さとみ 岡山居宅介護支援センター看護協会
23	6月6日(木) 13:15～16:15 看護研修センター	対面 Web	(リスクマネジメント) 訪問看護におけるリスクマネジメント ※法定研修	訪問看護におけるリスクマニュアルを熟知し、自ら行動し、再発防止につとめることができる 1.リスク感性を磨き、実践に活かせる能力を高めることができる 2.スタッフの支援を受けながら、リスク発生時に重大性、緊急性を的確に判断し、対処、報告連絡、相談することができる	竹内 美里 津山中央訪問看護ステーション
24	6月27日(木) 13:30～16:30 看護研修センター	対面	(自己啓発・研究) 事例検討 ～訪問看護師の在り方～	自己の看護実践を振り返り、実践的知識として日々の看護に活かすことができる 1.事例をまとめ、看護活動を分析・整理、振り返る方法が理解できる 2.事例をグループで共有し、それぞれの経験を言語化することで、実践に役立つ知識として習得することができる	栗本 一美 新見公立大学
61	8月31日(土) 13:30～16:30 金田病院	対面	在宅での症状緩和、看取り(仮)	在宅での緩和ケア、看取りについて学ぶ(仮) 1.看取りのプロセスにおける尊厳の尊重や苦痛の緩和について理解できる 2.療養者、家族の心理社会的側面への配慮ができる	三村 卓司 金田病院
62	9月3日(火) 9:30～12:30 看護研修センター	対面	在宅で必要な呼吸器の管理	在宅で必要な呼吸器の知識・技術を学ぶ 1.在宅で必要な呼吸器の基礎知識が習得できる 2.在宅で必要な呼吸器の基礎技術が理解できる 3.医療的ケアの実際にかかわることができる	光畑 良美 岡山済生会総合病院
63	9月3日(火) 13:30～16:30 看護研修センター	対面	在宅で必要なPICCの管理	在宅で必要なPICCの知識・技術を学ぶ 1.在宅で必要なPICCの基礎知識が習得できる 2.在宅で必要なPICCの基礎技術が理解できる 3.医療的ケアの実際にかかわることができる	小泉 匡司 岡山済生会総合病院
64	10月16日(水) 9:30～16:15 看護研修センター	対面	訪問看護に必要な基本的ケアの知識・技術	訪問看護に必要な基本的ケアの知識・技術を学ぶ 1.排泄ケア(排便コントロールを含む)知識・技術を習得する 2.体位変換、移動、移乗の知識・技術を習得する 3.吸引、爪切りなどの知識・技術を習得する	佐藤 直子 聖路加国際大学
65	10月30日(水) 9:30～12:30 看護研修センター	対面	難病療養者と家族への支援・社会資源の活用	難病療養者と家族への支援を学ぶ 1.難病療養者を支援する制度と社会資源、多職種連携の在り方が理解できる 2.相談支援専門員と看護職の連携について理解できる 3.難病療養者と家族の支援の実際について理解できる	樋口 妙子
66	10月30日(水) 13:15～16:15 看護研修センター	対面 Web	在宅における感染管理 ※法定研修	在宅における感染症への対応と支援を学ぶ 1.訪問時の標準予防策が実施できる 2.医療廃棄物を適正に処理できる(家族への指導ができる) 3.食中毒の知識と予防対策がわかる	立道 優太 岡山済生会総合病院
67	1月30日(木) 13:30～16:30 看護研修センター	対面	発達特性への関わりポイント —生活者として尊重するために—	地域で生活する発達障害への支援を学ぶ 1.発達障害について理解できる 2.在宅療養者・介護者とのかかわりのポイントがわかる 3.生活者のリズムに合わせたケアが展開できる	林原 麻衣子 岡山済生会総合病院

申込方法	共通の受講申込書にて <b>研修日ごと、お一人一枚</b> にもれなくご記入の上、 <b>研修日2週間前</b> までにお申込みください。
資料代/手数料	半日:500円 一日:1,000円/WEB受講の場合、当日の使用機器が、ケアキャビネットに加入していない場合:500円/回
支払い方法	会場:当日受付にて現金をお支払いください。 WEB:事前に請求書を送付するので、2週間以内に振込をお願いします。(手数料はご負担ください)
その他	上記以外の研修(他レベル)も受講できます。 単発で開催する研修、交流会、管理者関係の会議等については、随時ご案内します。 有事等、研修開催方法の変更や中止となることがあります。その際は、決まり次第ご連絡します。 HPに最新情報を掲載しますのでご確認ください。

令和6年度 訪問看護ラダーレベルⅢ対象

No	月日	方法	(中項目)テーマ	目的・到達目標	講師
31	7月24日(水) 9:30～12:30 看護研修センター	対面	(地域連携) 地域包括ケアにおける看護職の役割と多種職連携	看護の専門性を発揮し、関係機関、職種と必要な調整及び連携ができる 1.連携が必要な関係機関、職種のチームの中で専門的なアセスメントに基づいた看護内容を分かりやすく説明できる 2.関係機関、職種の専門性を尊重し、それを活かした円滑な連携方法が理解できる	塚本 由佳 水島虹の訪問看護ステーション
32	7月24日(水) 13:15～16:15 看護研修センター	対面	(組織運営・管理) 訪問看護ステーションの人材確保と経営	訪問看護ステーションの人材確保と経営について学ぶ 1.訪問看護ステーションの人材確保・定着の現状と課題について理解し、解決策を提案することができる 2.訪問看護ステーションの運営・経営について理解できる 3.コスト管理について理解することができる	下村 明世 そよかぜ訪問看護ステーション
33	11月27日(水) 9:30～12:30 看護研修センター	対面	(エンパワーメント/自己啓発・研究) 在宅におけるエンパワーメントアプローチ	利用者・家族の強みを引き出し、自ら解決できる方向に導くことができる 1.在宅におけるエンパワーメントを理解できる 2.利用者・家族の持つ個性、能力、意欲を見極め、引き出す関わりができる 3.自ら問題解決できるように関わることができる	山形 真由美 山陽学園大学
34	11月27日(水) 13:15～16:15 看護研修センター	対面	(倫理) 在宅における倫理的問題の解決方法 ※法定研修	倫理的問題の解決に向けての検討方法、困難事例への対応について学ぶ 1.在宅に特徴的な倫理的問題について考えることができる 2.倫理的問題の解決における利点、欠点を検討できる 3.倫理的問題の解決に向けた最善策を導くことができる	多留 ちえみ 生活支援者ネットTARUS
61	8月31日(土) 13:30～16:30 金田病院	対面	在宅での症状緩和、看取り(仮)	在宅での緩和ケア、看取りについて学ぶ(仮) 1.看取りのプロセスにおける尊厳の尊重や苦痛の緩和について理解できる 2.療養者、家族の心理社会的側面への配慮ができる	三村 卓司 金田病院
62	9月3日(火) 9:30～12:30 看護研修センター	対面	在宅に必要な呼吸器の管理	在宅に必要な呼吸器の知識・技術を学ぶ 1.在宅に必要な呼吸器の基礎知識が習得できる 2.在宅に必要な呼吸器の基礎技術が理解できる 3.医療的ケアの実際にかかわることができる	光畑 良美 岡山済生会総合病院
63	9月3日(火) 13:30～16:30 看護研修センター	対面	在宅に必要なPICCの管理	在宅に必要なPICCの知識・技術を学ぶ 1.在宅に必要なPICCの基礎知識が習得できる 2.在宅に必要なPICCの基礎技術が理解できる 3.医療的ケアの実際にかかわることができる	小泉 匡司 岡山済生会総合病院
64	10月16日(水) 9:30～16:15 看護研修センター	対面	訪問看護に必要な基本的ケアの知識・技術	訪問看護に必要な基本的ケアの知識・技術を学ぶ 1.排泄ケア(排便コントロールを含む)知識・技術を習得する 2.体位変換、移動、移乗の知識・技術を習得する 3.吸引、爪切りなどの知識・技術を習得する	佐藤 直子 聖路加国際大学
65	10月30日(水) 9:30～12:30 看護研修センター	対面	難病療養者と家族への支援・社会資源の活用	難病療養者と家族への支援を学ぶ 1.難病療養者を支援する制度と社会資源、多職種連携の在り方が理解できる 2.相談支援専門員と看護職の連携について理解できる 3.難病療養者と家族の支援の実際について理解できる	樋口 妙子
66	10月30日(水) 13:15～16:15 看護研修センター	対面 Web	在宅における感染管理 ※法定研修	在宅における感染症への対応と支援を学ぶ 1.訪問時の標準予防策が実施できる 2.医療廃棄物を適正に処理できる(家族への指導ができる) 3.食中毒の知識と予防対策がわかる	立道 優太 岡山済生会総合病院
67	1月30日(木) 13:30～16:30 看護研修センター	対面	発達特性への関わりポイント —生活者として尊重するために—	地域で生活する発達障害への支援を学ぶ 1.発達障害について理解できる 2.在宅療養者・介護者とのかかわりのポイントがわかる 3.生活者のリズムに合わせたケアが展開できる	林原 麻衣子 岡山済生会総合病院

申込方法	共通の受講申込書にて <b>研修日ごと、お一人一枚</b> にもれなくご記入の上、 <b>研修日2週間前</b> までにお申込みください。
資料代/手数料	半日:500円 一日:1,000円/WEB受講の場合、当日の使用機器が、ケアキャビネットに加入していない場合:500円/回
支払い方法	会場:当日受付にて現金をお支払いください。 WEB:事前に請求書を送付するので、2週間以内に振込をお願いします。(手数料はご負担ください)
その他	上記以外の研修(他レベル)も受講できます。 単発で開催する研修、交流会、管理者関係の会議等については、随時ご案内します。 有事等、研修開催方法の変更や中止となることがあります。その際は、決まり次第ご連絡します。 HPに最新情報を掲載しますのでご確認ください。

令和6年度 訪問看護ラダーレベルIV対象

No	月日	方法	(中項目)テーマ	目的・到達目標	講師
41	8月1日(木) 9:30～12:30 看護研修センター	対面	(自己啓発・研究) 事例検討 ～訪問看護の在り方～	訪問看護師として自らの関心ごとを見出し、テーマを決めて研究的に取り組むことができる 1.成長発達のための努力が続けることができる。 2.他事業所に自事業所のビジョンや強みを効果的に伝えることができる	赤瀬 佳代 訪問看護ステーション晴
42	8月1日(木) 13:15～16:15 看護研修センター	対面	(地域連携) 地域包括ケアにおける看護職の役割	地域包括ケアにおいて多職種と協働しながら看護師の役割を発揮することができる 1.在宅生活を継続するため地域社会の資源を紹介することができる 2.必要に応じて地域で新しいネットワークづくりに取り組むことができる	江田 純子 岡山県看護協会 地域包括ケア推進室
43 44	11月19日(火) 9:30～16:15 看護研修センター	対面	(組織運営・管理) 訪問看護ステーションの運営・管理 働きやすい職場環境づくり	管理者とともに組織の現状分析を行い、健全な運営に取り組むことができる 管理者とともに働きやすい職場環境づくりに取り組むことができる 1.管理者とともに組織的な問題解決に取り組むことができる 2.管理者とともに効果的なコミュニケーションをとることで、職場環境の問題解決を図ることができる	角田 直枝 常盤大学
45	12月18日(水) 13:30～16:30 看護研修センター	対面	(教育指導) 人材育成	人材育成のための手法を学ぶ 1.人材育成の基本的な考え方・心構えが理解できる 2.生涯学習について理解できる 3.メンタルヘルスケアについて理解できる	佐藤 直子 聖路加国際大学
61	8月31日(土) 13:30～16:30 金田病院	対面	在宅での症状緩和、看取り(仮)	在宅での緩和ケア、看取りについて学ぶ(仮) 1.看取りのプロセスにおける尊厳の尊重や苦痛の緩和について理解できる 2.療養者、家族の心理社会的側面への配慮ができる	三村 卓司 金田病院
62	9月3日(火) 9:30～12:30 看護研修センター	対面	在宅で必要な呼吸器の管理	在宅で必要な呼吸器の知識・技術を学ぶ 1.在宅で必要な呼吸器の基礎知識が習得できる 2.在宅で必要な呼吸器の基礎技術が理解できる 3.医療的ケアの実際にかかわることができる	光畑 良美 岡山済生会総合病院
63	9月3日(火) 13:30～16:30 看護研修センター	対面	在宅で必要なPICCの管理	在宅で必要なPICCの知識・技術を学ぶ 1.在宅で必要なPICCの基礎知識が習得できる 2.在宅で必要なPICCの基礎技術が理解できる 3.医療的ケアの実際にかかわることができる	小泉 匡司 岡山済生会総合病院
64	10月16日(水) 9:30～16:15 看護研修センター	対面	訪問看護に必要な基本的ケアの知識・技術	訪問看護に必要な基本的ケアの知識・技術を学ぶ 1.排泄ケア(排便コントロールを含む)知識・技術を習得する 2.体位変換、移動、移乗の知識・技術を習得する 3.吸引、爪切りなどの知識・技術を習得する	佐藤 直子 聖路加国際大学
65	10月30日(水) 9:30～12:30 看護研修センター	対面	難病療養者と家族への支援・社会資源の活用	難病療養者と家族への支援を学ぶ 1.難病療養者を支援する制度と社会資源、多職種連携の在り方が理解できる 2.相談支援専門員と看護職の連携について理解できる 3.難病療養者と家族の支援の実際について理解できる	樋口 妙子
66	10月30日(水) 13:15～16:15 看護研修センター	対面 Web	在宅における感染管理 ※法定研修	在宅における感染症への対応と支援を学ぶ 1.訪問時の標準予防策が実施できる 2.医療廃棄物を適正に処理できる(家族への指導ができる) 3.食中毒の知識と予防対策がわかる	立道 優太 岡山済生会総合病院
67	1月30日(木) 13:30～16:30 看護研修センター	対面	発達特性への関わりポイント —生活者として尊重するために—	地域で生活する発達障害への支援を学ぶ 1.発達障害について理解できる 2.在宅療養者・介護者とのかかわりのポイントがわかる 3.生活者のリズムに合わせたケアが展開できる	林原 麻衣子 岡山済生会総合病院

申込方法	共通の受講申込書にて研修日ごと、お一人一枚にもれなくご記入の上、研修日2週間前までにお申込みください。
資料代/手数料	半日:500円 一日:1,000円/WEB受講の場合、当日の使用機器が、ケアキャビネットに加入していない場合:500円/回
支払い方法	会場:当日受付にて現金をお支払いください。 WEB:事前に請求書を送付するので、2週間以内に振込をお願いします。(手数料はご負担ください)
その他	上記以外の研修(他レベル)も受講できます。 単発で開催する研修、交流会、管理者関係の会議等については、随時ご案内します。 有事等、研修開催方法の変更や中止となることがあります。その際は、決まり次第ご連絡します。 HPに最新情報を掲載しますのでご確認ください。

令和6年度 訪問看護ラダーレベルV対象

No	月日	方法	(中項目)テーマ	目的・到達目標	講師
51	5月14日(火) 9:30～12:30 看護研修センター	対面 Web	(組織運営・管理) 令和6年度報酬改定	<b>令和6年度報酬改定に伴う変更点について学ぶ</b> 1.訪問看護に関連した報酬改定について理解できる 2.運営基準の変更点が理解でき、事業所で取り組む内容について説明できる	大竹 尊典 日本訪問看護財団
52	9月7日(土) 9:30～12:30 岡山大学 鹿田キャンパス	対面	(倫理) 在宅における看護倫理 ※法定研修	<b>在宅における倫理的課題(プライバシー保護・虐待)の解決方法を学ぶ</b> 1.管理者として、利用者・家族・職員に対するプライバシー保護の取り組みを行い安心できる環境を整えることができる 2.高齢者の虐待の現状と防止策を考えることができる 3.管理者に求められる組織倫理を学ぶ	谷垣 静子 岡山大学
53	9月7日(土) 13:30～16:30 岡山大学 鹿田キャンパス	対面	(教育指導) 看護教員と訪問看護師で訪問看護についてかたろう会	<b>訪問看護ステーションと教育機関の交流を通し、相互理解を深めるとともに、今後の在宅看護学実習のあり方を考える</b> 1.在宅看護学実習における学生の学びを理解する 2.在宅看護学実習を受け入れている事業所の状況を理解する 3.事業所と教育機関の連携、強化を図る	
54	12月11日(水) 9:30～16:15 看護研修センター	対面	(基本姿勢/組織内部の連携/組織運営・管理) 安定した事業継続のためのマネジメント (午後:管理者カフェ)	<b>事業所内でのリーダーシップを学び実践することができる</b> 1.管理者として事業所内のマネジメント力を向上させることができる 2.円滑に業務が進められるようリーダーシップを執ることができる 3.働き続けられる人材を育成することができる	渡邊 尚之 渡邊会計事務所
55	5月14日(火) 13:15～16:15 看護研修センター	対面	(ハラスメント対策) 働きやすい職場環境の整備 ハラスメント対策 ※法定研修	<b>管理者としてハラスメント対策について理解を深め、働きやすい職場環境を整備することができる</b> 1.管理者として、利用者・家族・職員に対するハラスメント対策の重要性を意識した行動をとることができる 2.働きやすい職場環境を整備し職員離職防止策を考えることができる	石井 サト子 石井@教育研究所
56	12月18日(水) 9:30～12:30 看護研修センター	対面	(リスクマネジメント/感染管理) BCPの運用 一災害・感染症対策— ※法定研修	<b>組織の危機管理責任者としての役割について学ぶ</b> 1.組織の危機管理責任者として行動することができる 2.災害時、感染拡大時に適切に対処し事業継続ができるよう行動することができる	江田 純子 岡山県看護協会 地域包括ケア推進室
61	8月31日(土) 13:30～16:30 金田病院	対面	在宅での症状緩和、看取り(仮)	<b>在宅での緩和ケア、看取りについて学ぶ(仮)</b> 1.看取りのプロセスにおける尊厳の尊重や苦痛の緩和について理解できる 2.療養者、家族の心理社会的側面への配慮ができる	三村 卓司 金田病院
62	9月3日(火) 9:30～12:30 看護研修センター	対面	在宅に必要な呼吸器の管理	<b>在宅に必要な呼吸器の知識・技術を学ぶ</b> 1.在宅に必要な呼吸器の基礎知識が習得できる 2.在宅に必要な呼吸器の基礎技術が理解できる 3.医療的ケアの実際にかかわることができる	光畑 良美 岡山済生会総合病院
63	9月3日(火) 13:30～16:30 看護研修センター	対面	在宅に必要なPICCの管理	<b>在宅に必要なPICCの知識・技術を学ぶ</b> 1.在宅に必要なPICCの基礎知識が習得できる 2.在宅に必要なPICCの基礎技術が理解できる 3.医療的ケアの実際にかかわることができる	小泉 匡司 岡山済生会総合病院
64	10月16日(水) 9:30～16:15 看護研修センター	対面	訪問看護に必要な基本的ケアの知識・技術	<b>訪問看護に必要な基本的ケアの知識・技術を学ぶ</b> 1.排泄ケア(排便コントロールを含む)知識・技術を習得する 2.体位変換、移動、移乗の知識・技術を習得する 3.吸引、爪切りなどの知識・技術を習得する	佐藤 直子 聖路加国際大学
65	10月30日(水) 9:30～12:30 看護研修センター	対面	難病療養者と家族への支援・社会資源の活用	<b>難病療養者と家族への支援を学ぶ</b> 1.難病療養者を支援する制度と社会資源、多職種連携の在り方が理解できる 2.相談支援専門員と看護職の連携について理解できる 3.難病療養者と家族の支援の実際について理解できる	樋口 妙子
66	10月30日(水) 13:15～16:15 看護研修センター	対面 Web	在宅における感染管理 ※法定研修	<b>在宅における感染症への対応と支援を学ぶ</b> 1.訪問時の標準予防策が実施できる 2.医療廃棄物を適正に処理できる(家族への指導ができる) 3.食中毒の知識と予防対策がわかる	立道 優太 岡山済生会総合病院
67	1月30日(木) 13:30～16:30 看護研修センター	対面	発達特性への関わりポイント —生活者として尊重するために—	<b>地域で生活する発達障害への支援を学ぶ</b> 1.発達障害について理解できる 2.在宅療養者・介護者とのかわりポイントがわかる 3.生活者のリズムに合わせたケアが展開できる	林原 麻衣子 岡山済生会総合病院

申込方法	共通の受講申込書にて <b>研修日ごと、お一人一枚</b> にもれなくご記入の上、 <b>研修日2週間前</b> までにお申込みください。
資料代/手数料	半日:500円 一日:1,000円/WEB受講の場合、当日の使用機器が、ケアキャビネットに加入していない場合:500円/回
支払い方法	会場:当日受付にて現金をお支払いください。 WEB:事前に請求書を送付するので、2週間以内に振込をお願いします。(手数料はご負担ください)
その他	上記以外の研修(他レベル)も受講できます。 単発で開催する研修、交流会、管理者関係の会議等については、随時ご案内します。 有事等、研修開催方法の変更や中止となることがあります。その際は、決まり次第ご連絡します。 HPに最新情報を掲載しますのでご確認ください。

# 訪問看護ラダー別メモリー 使用手順

## 1. 各レベル訪問看護ラダー別メモリーの使用にあたって

- 1) それぞれ対象のものを管理者が本人へ渡し、使用方法（2に従って）を説明する。  
（メモリーの用紙が足りない場合はコピーをする）

## 2. 各自の使用方法

- 1) ファイル（ポートフォリオ用：背幅がのびるファイルを推奨）を作成する。
- 2) 訪問看護ラダー別メモリーをトップページに挟み、研修の資料や記録をファイルする。
- 3) 研修受講後、各自でテーマ、受講年月日、時間数を記載し、管理者が確認印を押す。  
管理者関係の研修については、研修会当日、受付にて当会が協議会印を押印する。  
（研修に持参し、会場にて記載することをお奨めします）
- 4) レベルⅢについて  
当会が定めた必須項目☆を2年以内にすべて受講後、管理者が修了証発行申請を行うことで、当会が修了印を押印し証する。
- 5) レベルⅤ（管理者）について  
**当会が定めた必須項目☆を毎年3項目(9時間)以上受講後**、当会が修了印を押印し証する。（修了証の有効期間は次年度末）
- 6) 当会以外が主催する研修受講や、当会主催の他レベルを受講した場合は、メモリーの裏面に記載する。
- 7) 所属が変わっても県内の訪問看護ステーションであれば引き続き使用する。

## 3. 修了証発行について

- 1) 年度末までにレベルⅢ・Ⅴ（管理者）の研修受講が修了したスタッフの、メモリー下部の修了証発行申請者欄に、管理者名および押印し、まとめて当会へ提出する。
- 2) 当会は、提出されたメモリーを確認後、メモリー下部に修了印を押印し返却する。

### • レベルの認証の開示について •

- 1) レベルⅢ  
当会の修了印を押印後、HPのステーション情報の「レベルⅢ研修受講修了者人数」として掲載する。
- 2) レベルⅤ  
当会の修了印を押印後、HPのステーション情報の「レベルⅤ研修受講修了管理者」として掲載する。ただし、修了年および次年度末までが掲載期間とする。

※看護職以外の職員については、研修の聴講は可能であるが、修了認証はしない。